

学校長 式辞

令和6年1月、石川県能登地方で発生した地震によりお亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。

厳しい冬の寒さに耐えてきた木々の芽が膨らみを増し、春の訪れを告げています。本日ここに、大阪府立貝塚南高等学校第48回卒業証書授与式を挙りましたところ公私ともご多用にも関わりませず、大阪府教育委員会（主任指導主事）様、貝塚市長様をはじめとするご来賓の皆様方、保護者の皆様方、関係者の皆様方のご臨席を賜り誠にありがとうございます。高いところからではございますが学校を代表して厚くお礼申し上げます。

保護者のみなさま本日ここに、(232)名の卒業生を送り出すことができました。卒業生はもとより私ども教職員にとっても大きな喜びであります。

入学以来この間、感染症のパンデミックをはじめ、国際紛争、科学技術やグローバル化の急速な進展、気候変動、自然災害の猛威等、変化の激しい先行き不透明な状況を受け入れながらお子様を励まし、慈しみ、育てられました。多くの喜び、又、お子様には伝えることのできない親としての淋しさを涙まで飲み干すこともあったのではないのでしょうか

ここに実を結び、お子様は堅実に高校教育を終え「あかるく たくましく 心爽やかに」立派に成長されました。敬意と感謝の気持ちを込め、お祝いの言葉を申し上げます。お子様のご卒業、誠にありがとうございます。どうかお子様の前途を温かく見守り、時には励まし、これからも支えていただきますようお願い申し上げます。又、これまで本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今後も引き続きお力添えの程よろしくようお願い申し上げます。

さて、48期生のみなさん、卒業おめでとうございます。みなさんは入学以来、周囲の情勢の変転が激しい中、それぞれの夢や目標、可能性を追究し、学習活動や部活動、学校行事、生徒会活動等に真摯に取り組み、本日、人生の大きな節目、慶びの日を迎えました。特に、48期生学年団が礎を築いた【貝南サミット】は柔軟な発想や論理的思考力、問題発見・解決能力、表現力、協働性等が生まれ、未知なる社会を豊かに生き抜くための大きな原動力となる本校の宝です。50周年記念式典でのリーダーシップの発揮、思い伝えるため、校長室へ来室いただいたみなさんの礼節を重んじた振る舞いも大変好印象で私の記憶に残っています。その他、総じて、学年を追うごとに成長する姿が都度体感でき元気や勇気をいただきました。ありがとうございます。心から感謝します。自己への信頼を胸に未来への歩みを始めて下さい。又、人は人の中で育ち、支え支えられ長い人生を歩みます。日夜問わず無償の愛情を持って励まし、支えてくださったご家族、寄り添い教え続けた先生方、関係者のみなさんへ感謝の意を表すことを忘れないで下さい。

慶びの日にあたり餞（はなむけ）の言葉としてお話ししたいことはたくさんありますが2点に絞ってお伝えします。一つ目は【生涯学び続けて下さい】進化論を唱えた自然科学者は（強さや賢さより変化に敏感であることが大切である）と伝えています。価値観の変容で、旧態依然な知識や前例が通用しないことが少なくない世の中です。現実に対して知識と技能を応用することや異なる価値観をもった人と積極的にかかわる社会性が必要です。特に、自身が感じたことや思ったことを表現できる言語能力の重要性を忘れないで下さい。新たな事を拒否せず、勇気と思いやり、好奇心を持ち、出会った人や環境から主体的に学び続けて下さい。AI技術が飛躍的に進展するこれからの時代、人と人の細やかで豊かな関係性を大切に（和の心・合の心）を育み温もりのある社会を構築していただくことを期待いたします。

二つ目は【自立について】です。本校のスクールミッションは、ウエル・ビーイングな学校づくりで

す。この理念はグローバルに浸透することを願っています。実現に向けては在学中にみなさんに伝え続けた周囲への思いやりがもっとも重要です。自分自身の思いのままに動くのではなく、自分の思いをもコントロールし、他者のために動き、他者の幸せを願う人が本当に自立した主体的な人であり、そうなることが人としての真の成長、成熟であると思います。以上記憶に留めていただき個々に解釈いただければ幸いです。

それでは、48期生のみなさんの益々のご健勝並びに発展、ご臨席賜りました皆様方のご多幸を祈念申し上げます、式辞と致します。

令和6年2月29日

大阪府立貝塚南高等学校

校長 藤田 繁也